

鳥取森林管理署

担当者

森林技術指導官:大石 政弘

地域林政調整官:竹原 正人

TEL:050-3160-6125

連携機関:鳥取県

地域課題:県産材の利用促進(公共建築物・土木事業等への利用、安定供給体制の確立)

取組状況

- 治山・土木事業の木材利用において、県産材の活用を積極的に行った。
- 国有林野等所在市町村長協議会において、関係市町村へ地域材の利用促進について協力依頼を実施。

成果と今後の課題

- 鳥取森林管理署において、平成25年度に、原木市場 約2,400 m^3 、安定供給システム 8,800 m^3 の素材を供給。
- H26年度以降は生産事業の実施予定地を踏まえ、原木市場の選定、システム販売供給先等の拡充を検討。
- 国有林における治山・土木工事において、平成25年度に、168 m^3 (丸太残存式型枠、丸太筋工等)の県産材を使用。
- 鳥取県における市町村木材利用方針の策定状況(平成26年2月28日時点)は89%となっている。引き続き関係市町村へ木材利用の促進について情報発信を実施。

治山工事への県産材利用の様子



国有林野等所在市町村長協議会の様子



国有林材の販売の様子



鳥取森林管理署

連携機関: 鳥取県

地域課題: 病虫害対策(カシノナガキクイムシ被害が県東部から天神川流域まで拡大、局所的に大山町でも発生)

取組状況

- 鳥取県との合同被害調査を実施(ヘリコプターからの上空調査、地上調査)し、大山国有林、^{だいせん} 槇ヶ原国有林^{まきがはら}で確認された被害木について伐倒くん蒸処理を実施。
- 「大山広域ナラ枯れ被害対策協議会」に参画し、取組状況等について情報交換を実施。

成果と今後の課題

- ヘリコプターからの被害調査により、大山国有林までナラ枯れ被害の拡大を確認。
- 国有林において、被害の蔓延防止のために伐倒くん蒸処理を実施。
- 国、県、各市町村等が参画する被害対策協議会では、民国が連携した被害対策に取り組んでおり、国有林内に発生した被害木については、引き続き、伐倒駆除等の対策を実施。

ナラ枯れ被害木伐倒処理の様子



くん蒸処理の様子



鳥取森林管理署

連携機関: 鳥取県・若桜町

地域課題: ニホンジカ個体数管理の実施

取組状況

- 若桜町鳥獣害対策協議会等と連携し、若桜町内の国有林や民有地(休耕田)へ囲い罠を設置し、ニホンジカの捕獲を実施。
おきのやま
- 沖ノ山国有林へ下層植生回復の経過観察のため獣害防止柵を設置。
- 平成25年度森林・林業交流発表会において、「民国連携による地域一体となった鳥獣害対策活動」について若桜町と共同で発表。

成果と今後の課題

- 囲い罠によりニホンジカを捕獲し、個体数管理に寄与。今後、更なる捕獲頭数の増加や餌付け方法、肉や皮等の有効利用などについて、関係機関と連携。
- 近畿中国森林管理局主催の森林・林業交流発表会では、地域連携がとられた成功例の発表として、また、捕獲したシカを地域の食材として利用する地域振興へも寄与している点について高く評価され、日本森林林業振興会会長賞を受賞。

囲い罠を共同で設置する様子



捕獲されたニホンジカの様子



鳥取森林管理署

連携機関: 鳥取県

地域課題: 人工林皆伐再造林の施業体系の検討

取組状況

- 主伐時期の到来に伴う再造林経費や保育経費の削減のため、鳥取県人工林皆伐再造林研究会へ参画し、意見交換を実施。

成果と今後の課題

- 人工林皆伐再造林にかかる当面の課題を確認。
- 今後、作業委員会において、再造林、保育経費の削減、並材生産に適した保育の施業体系が作成され、研究会において検討。